


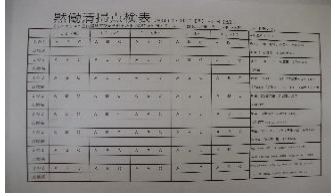


# 令和3年度（2021年度）学校版環境ISOへの取組

## < 多良木町立多良木中学校 >

### 1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒版環境宣言」（生徒会環境委員会が作成） SDGsの精神と内容を学び合い、本校の現状、地域の現状、世界の現状を見渡し、何が求められているか、自分たちで何ができるかを議論し、環境宣言項目を出し合って今年度の環境宣言を作成した。</li> </ul>
行動	    	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内美化 生徒会（環境委員会）主催で、美化クラスマッチを毎学期実施し、結果を広報する等して校内の美化に努めた。さらに、掃除に集中するために「黙働清掃」に力を入れ、環境委員が「黙働清掃」のカード（写真）を作成するとともに、カードを両手で持って校内を回って呼びかけた。職員も生徒と共に清掃にあたることを重視し、校長以下全職員が職員室から出て、生徒と共に校内美化に努めた。</li> <li>・整理整頓 教室における生徒個人のロッカーを毎日の掃除の時間を中心に、特に参観授業や学期末に時間を設けて整理整頓に努めた。</li> <li>・花壇の整備・管理 夏休みは部活動参加者を割り振って花壇を管理した。普段は環境委員を中心に花植えや草取り等に励んだ。</li> <li>・夏休み親子美化作業 夏休みは親子美化作業として、グラウンドの草取り、石拾い、校舎周りの草刈り、側溝の泥上げ整備等を計画したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施直前に中止した。</li> <li>・各学年クリーン大作戦 学校運営協議会（環境委員会）と連携しての毎年の恒例行事として定着してきた。第6校時以降をこの時間に充て、第1学年は学校周り、第2学年は近くの神社、第3学年は町民グラウンドの周りを整備した。</li> <li>・学校運営協議会（環境委員会）との通学路整備</li> <li>・ペットボトルキャップ回収活動 生徒会主催でペットボトルキャップを期間を決めて回収した。事前に給食時間の校内放送で呼びかけ、早朝</li> </ul>

		<p>から段ボール箱やビニール袋を持って玄関に立ち、全校生徒に呼びかけながら収集した。職員も協力した。</p> <p>・ <b>空き缶回収活動</b></p> <p>生徒会主催で全校生徒や職員に呼びかけて実施した。アルミ缶とスチール缶に分けて実施し、たくさんの空き缶を回収することができた。</p>
記録		<ul style="list-style-type: none"> <li>・点検・記録は学校版環境 I S O 委員会の係が行った。</li> <li>・計画された活動一つ一つの実施状況及び成果と反省等を生徒の手で記録した。(筆記記録、写真記録等)</li> <li>・各種活動の実際や結果は校内放送等を通じて学校全体に広報した。</li> <li>・これらの活動により、日常の清掃活動や地域に出かけての「クリーン大作戦(清掃活動)」に汗を流す生徒が増え、美化活動にいそしむ生徒が増えた。</li> </ul>
見直し	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の清掃活動(2分前行動を含む)の放送による呼びかけを生徒会の環境委員長が行うようにした。</li> <li>・今年度は環境委員がやっている活動を昼食時間に紹介するようにした。</li> <li>・節電クラスマッチの計画を点数化した。</li> <li>・生徒及び職員の環境宣言をSDGsの視点で見直した。</li> <li>・黙働清掃の定着を計るために、各学期に強化週間を設けて環境委員を割り振り、巡回して呼びかけるようにした。</li> </ul>

## 2 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒用の「環境宣言」の文面ができ上がり、環境委員会の活動の基本が明確になった。</li> <li>・職員の「環境宣言」は文案ができ、掲示することができた。</li> <li>・環境委員会の呼びかけや校内放送の充実により、生徒全体の環境に対する意識が高まり、校内の清掃活動もレベルアップした。</li> <li>・黙働清掃の呼びかけの強化により、前年度よりも生徒の清掃活動に対する意識が高まった。</li> <li>・学校運営協議会の環境委員長と話を深め今後の活動の見通しをもつことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宣言文作成後、環境委員会の中では行動を始めたが、生徒総会にかけて正式に採択して生徒全員に意識付けをする必要がある。</li> <li>・練り直した職員版「環境宣言」を年度当初の職員会議に諮って承認を求める取組が必要である。</li> <li>・環境委員長の活発な動きにより、活動が生徒全体に見えるようになったが、委員会全体が組織的に行動する手立てが必要である。</li> <li>・黙働清掃のレベルアップに課題が残った。意義を生徒一人一人に理解させる工夫が必要である。</li> <li>・活動の計画や行動計画を見直し、活動人員を増やして実働していくことが必要である。</li> <li>・委員会の具体的計画と行動及び保護者への啓発が必要である。</li> </ul>